

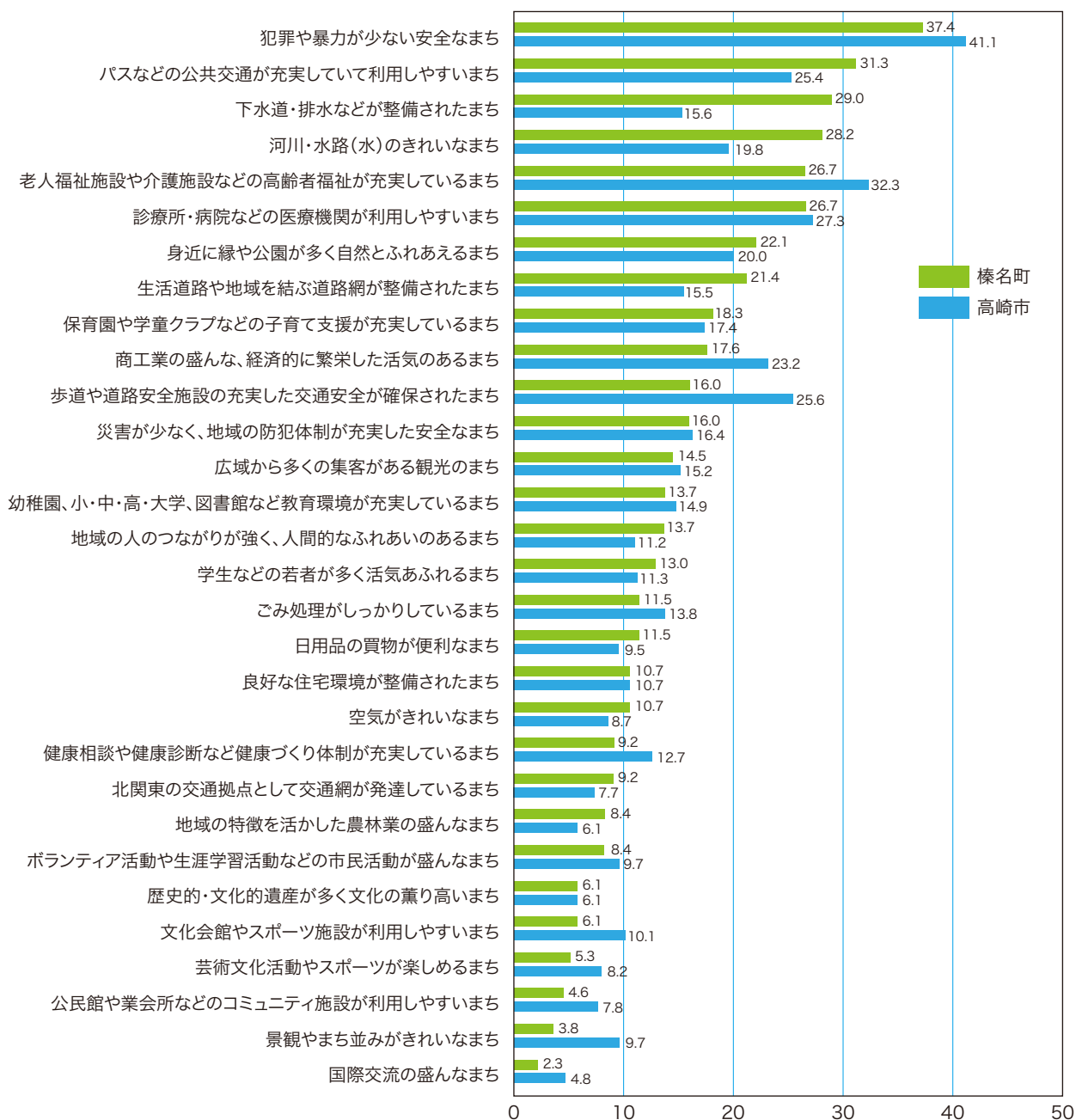
1. 第14回「市民の声」アンケート調査結果（2006年度）

高崎市は、市民のニーズに沿った政策を立案し、運営するために、市民の総合的な意識を的確に把握するため、アンケート調査を実施しています。

（高崎市対象：満20歳以上の市民5,000人、回収数2,506人、回収率50.1%、旧榛名町対象：満20歳以上の町民350人、回収数131人、回収率37.4%）

このアンケート調査のうち、合併後の「新高崎市に望むもの」を30項目から5つ選択してもらう方式で回答をいただいた結果は以下のとおりです。

■高崎市に望むもの（5択）



2. 高崎市まちづくり市民意識調査結果（2007年度）

市政に対する市民の評価や考え方などをたずねるとともに、市民ニーズを把握し、高崎市第5次総合計画の策定に反映することを目的としたアンケート調査を実施しています。

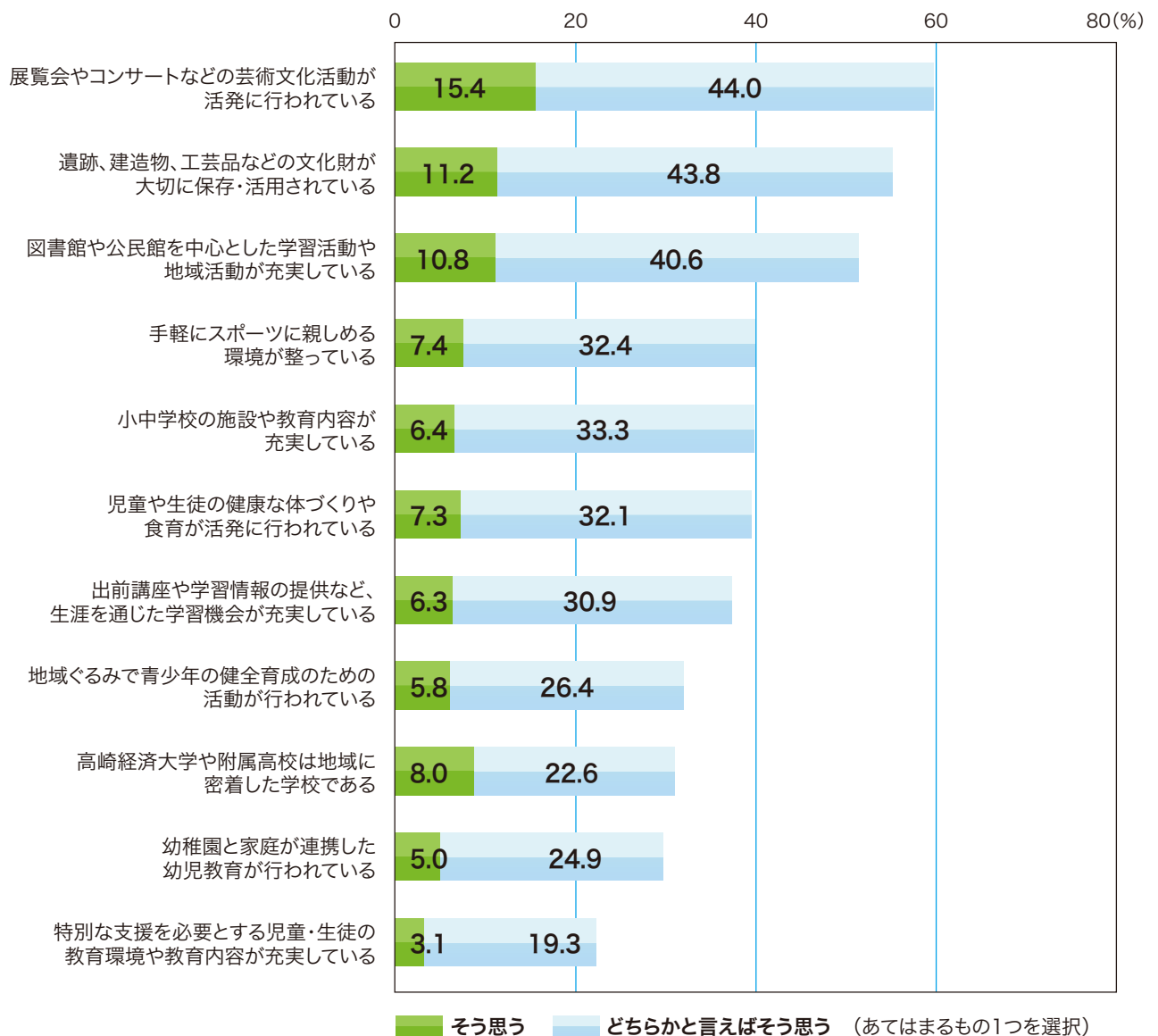
（対象：満20歳以上の市民、5,000人、回収数2,129人、回収率42.6%）

この調査では、6分野49施策（うち教育・文化分野11施策）について、施策の充実度や整備の水準等に対する評価を「そう思う」から「思わない」までの4段階で回答いただくとともに、分野ごとに「重視すべき施策」を3つまで選んでいただきました。

教育・文化分野の結果は、以下のとおりです。

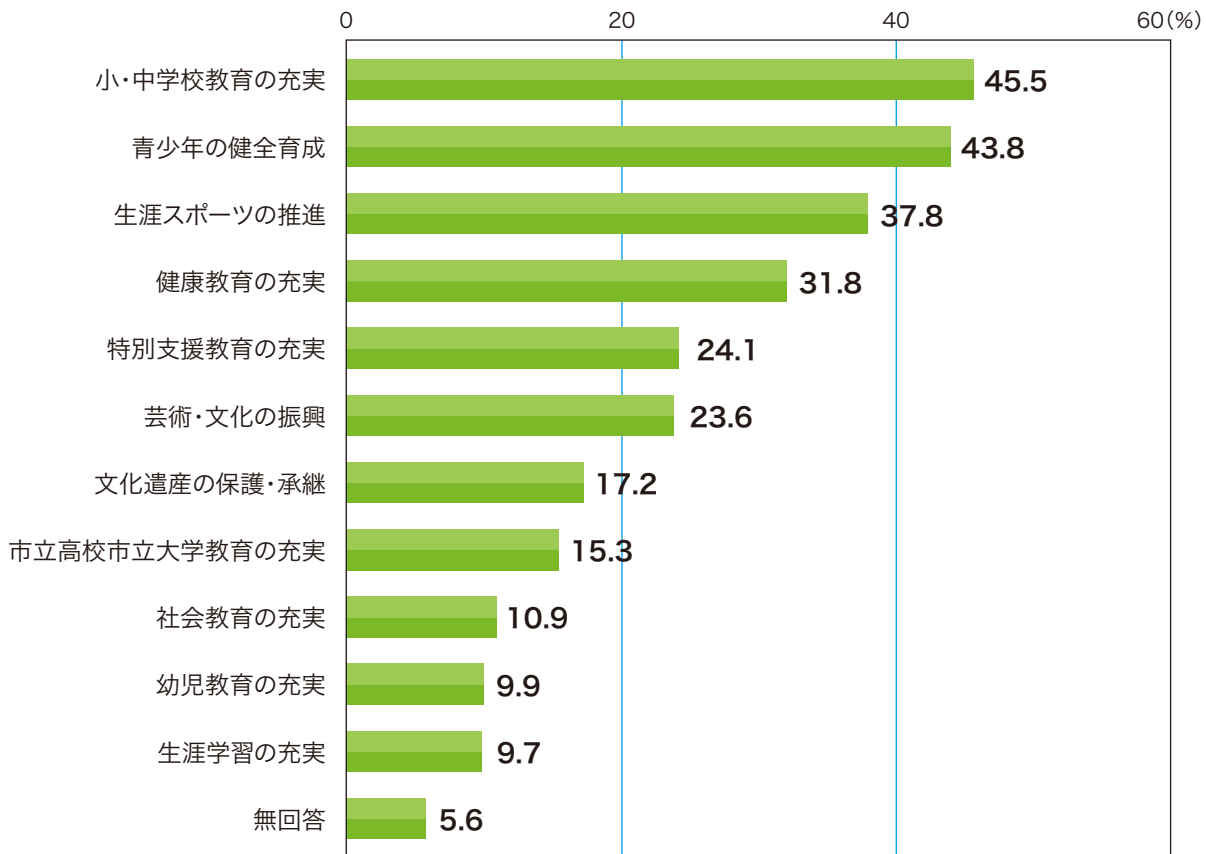
■施策の満足度

「展覧会やコンサートなどの芸術文化活動が活発に行われている」で、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計が最も高く59.4%、次いで「遺跡、建造物、工芸品などの文化財が大切に保存・活用されている」が55.0%、「図書館や公民館を中心とした学習活動や地域活動が充実している」が51.4%となっています。



■施策の重要度

「重視すべき施策」は、「小・中学校教育の充実」が最も高く45.5%、次いで「青少年の健全育成」が43.8%、「生涯スポーツの推進」が37.8%となっています。



(複数選択, 3つまで)

1 生涯学習都市宣言

(平成7年12月2日制定)

わたくしたち高崎市民は
生きとし生けるものが 共に生き
自然と人間と経済の調和する
文化の香り高い
豊かなまちづくりをめざします

ひとりひとりが
自らの人間性を高めるため
生きがいのある人生を求めるため
あすをひらく意欲に燃えて
生涯学びつづけるよう努めます

ここに
いつでも どこでも だれでも
たのしく学べるまち
「生涯学習都市高崎」を宣言します

2 人権尊重都市宣言

(平成7年11月30日制定)

人はだれでも、一人ひとりかけがえのない存在として尊重され、豊かに、健康で幸せな生活を営む権利をもっています。この基本的人権は、いかなる理由があっても侵害されるものではありません。

わが国では、日本国憲法に明示されている基本的人権の確立のため、人権擁護のさまざまな努力が続けられてきました。いまや、地球規模の交流時代の中で、人権の尊重がいつそう強い社会的要請にまで高まっています。

私たちは、すべての市民の人権を等しく保障するために、平和及び人権尊重について、共に学び行動し、明るい民主的社会の実現を図る必要があります。

ここに、私たち市民は、憲法のかかげる平和及び人権の確立とその擁護のための活動を推進し、人と人とのふれあいを大切にし、いたわりの心がゆきわたる市民生活の充実した高崎市を築くために「人権尊重都市」を宣言します。

3 核兵器廃絶平和都市宣言

(昭和61年3月5日制定)

私たち高崎市民は、ふるさと高崎を愛し、しあわせがみんなに広がるまちづくりを、未来への道しるべとしています。

しかし、いま私たちの生活に大きな暗い影をおとしているものがあります。

それは、人類を滅亡におとしめる核兵器です。この核兵器の廃絶こそ、私たち高崎市民の願いです。

私たちは、平和を愛するすべての国の人々とともに、真の永久平和を実現することを決意し、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。